

第七次函南町総合計画 <にぎわい・交流・産業分野>

町民ワークショップニュースレター

第七次函南町総合計画策定のためのWSが開催されました！！

今後10年間の町の総合的な指針である総合計画の策定にあたり、町民の皆様から、にぎわい・交流・産業（社会基盤・産業・交流にぎわい）分野での現状と課題、まちづくりの方向性・施策アイデアなどについてワークショップ（WS）形式で意見交換を行いました。WSは4つの部門ごとに2回ずつ開催することを予定し、今回は2回目のWSが開催されましたのでお知らせします。

日 時：令和8年1月21日（水）14:00～16:00
会議場所：函南町役場 2階 大会議室
参 加 者：26名



主な意見交換内容

5つのグループに分かれて、2つのテーマで「行政が行うこと」「協働でできること」「町民ができること」について意見交換をしました。主な内容は以下のとおりです。

検討テーマ① 「活力とゆとりを生み出す産業づくり」

カテゴリ	行政が行うこと	協働でできること	町民でできること
観光・名産品	<ul style="list-style-type: none"> 快適に人や物が移動する事が出来る道路整備 PRが必要 ニーズの継続的な掘り起こし 道の駅を核とした周遊ルートを作る 道の駅周辺でのイチゴ狩り 稼ぐ行政 イチゴ、牛乳（乳製品） 観光の目玉を創設する 函南町の農産物をPRする場所や企画を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> 自然を活かした施設整備（行政・民間活力を利用、整備費用の削減） SNS発信力の強化→フリー投稿、ポイントの付与 地域おこし協力隊などの活用 駅（三島駅等）と観光スポットをめぐるバス等移動手段をつくる ふるさと納税の商品に観光チケット等を増やす 移住者が集まれるコミュニティスポットをつくる 民間と行政の役割分担を明確にして、イベント、名産品の発信 	<ul style="list-style-type: none"> SNS発信、商工会で補助 イベントなど、町民に補助 生産者に閉鎖的な空気あり→情報発信に寛容に 湯～トピアかんなみにリニューアル、他には無いことをやる 函南町をまわる2～3時間のミニツアー開発（伊豆旅行のスキマ時間に）
就業場所	<ul style="list-style-type: none"> 企業の誘致 企業、住民、団体の取りまとめ、橋渡し役 ベンチャー企業への補助 全般的に規制の見直し 法的整備 支援金、補助金の創設 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の創設 高校生、専門学校生を対象に農業体験学習の実施 丹那牛乳を活用した企業の進出 	<ul style="list-style-type: none"> 起業する 
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地のレンタル、貸出しの交渉 土地利用のための法整備 移住の増加を図るため、規制の緩和・充実 空き家のリフォーム 空き家の情報発信、バンクの活用 駅前の再開発 	<ul style="list-style-type: none"> 土地の需要、供給など情報支援 空き家活用（地元の業者がリノベーションし販売） アグリツーリズムの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 民主導土地区画整理の実施（上沢）
担い手	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代、子育て世代へのサポート充実 レンタル農機 	<ul style="list-style-type: none"> 函南スイカの後継者育成 人口増加して繋がる政策を展開 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の衰退に気づいていない→気づかせるセミナーなど

検討テーマ② 「魅力とにぎわいのある交流づくり」

カテゴリ	行政が行うこと	協働でできること	町民でできること
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の周辺駐車場とイベント広場の整備 ・イベント開催のハードルを下げる（場所の提供、使用料等） ・町内施設をめぐるイベント開催 ・文化芸術イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週日曜日の朝、朝市の開催 ・丹那牛乳を活用したイベント ・稼ぐことをする（持続するために） ・文化センターでコンサート、ライブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会ごとの地域イベント ・一緒につくる、当事者になる ・祭りを絶やさない
観光・知名度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園の活用 ・公共施設の貸出し、休館日（文化センター）の提供 ・内田篤人を観光大使に ・「かんなみ町」にする（函南が読みづらいため） ・ニーズを把握した計画の策定 ・観光のプロの招集（テレビ、SNS、地域おこし） ・来光川沿いの整備 ・体験メニューの充実 ・関係人口をつくる ・アンテナショップの募集 ・国内の都市と協定を結ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者の交流 ・フォロワー数多いインフルエンサーによるPR ・せせらぎ公園に出店を ・情報発信を大型スーパーにしてもらう、割引券等を配布してもらう ・熱海・函南・箱根のコラボ企画で回遊性を高める ・行政と一緒にタイアップ依頼をさせてほしい ・田方農業高校生からの魅力発信 ・函南町の物産等で首都圏に出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の良さに気づく 
企業・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と企業のマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・田方農業高校生の地元企業体験 ・大型商業施設をつくる 	—
居住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・信号、横断歩道、街灯、防犯カメラの設置 ・防犯灯の整備、地域全体での子どもの見守り 	—	—
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の交流の必要性の周知 ・自治会イベント、とりまとめ、指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアクラブの活用（美化、子どもの見守り） 	—

ワークショップへの主な意見・感想

ワークショップの後、皆さんからたくさんのご意見を頂きました。主な意見を以下に記載しています！

●ワークショップで発言できなかったこと、後日気付いた点

どのグループにも観光・名産品について多く意見がでていることは函南町を周知・PRするには、そこをもっと強くしていくかなければならないと感じた。／ゴミ拾い競争イベント（イッテQでやっていたもの）の実施も、町内周遊と美化の両面にアプローチできて面白いかと思います。／子育て世代の親子を対象にした町内のバスツアーなどのイベントがあると町の事を知る事ができ参加者同士の交流にもつながると思いました。

●“町民ワークショップ”に参加してみた感想・意見・要望

アイディアは出てくるが、実現させるためにはかなり大変であると感じたことが多かったです。普段の生活のなかで感じたことを大切に、意見を出すよう意識しましたが、もっとアンテナを高くして考えることができたら良かったと思いました。／道の駅の駐車場不足が課題となっていると感じた。車での参加を見込むのであれば十分なスペースを確保すればより多くの集客や稼ぐという視点でも業者が参加する契機となるのではないか。

今後も地域の皆さまからのご意見をお待ちしています！

函南町ホームページ上で、第七次函南町総合計画策定に向けたご意見を募集しています。

募集期限：令和8年3月31日（火曜日）

URL：<https://www.town.kannami.shizuoka.jp/cgi-bin/inquiry.php/28>

